

# 実務事例紹介(1)

杉田茂樹

(京都大学附属図書館)

# 自己紹介と本日の内容

- 北海道大学 (HUSCAP) 2005-2009 ←実務
  - 小樽商科大学 (Barrel) 2010-2012
  - 千葉大学 (CURATOR) 2013-2015
  - 東京大学 (UT Repository) 2016-2017
  - 上越教育大学 (上越教育大学リポジトリ) 2018-2019
  - 京都大学 (KURENAI) 2020-
- 
- 尾城孝一「機関リポジトリの神話と真実：試作版」(H17.11未公表) を元に加筆・改稿

**(神話)**

**読者のための論文提供サービスである**

**(真実)**

**著者のための可視性向上サービスである**

**（神話）**

**著者の許諾の下に、図書館が論文を公開する**

**（真実）**

**著者が自らの意志で論文を公開する**

**大学（図書館）はそのための場所を提供する**

**(神話)**  
**著作権法に則る**

**(真実)**  
**著作権譲渡契約に則る**

**(神話)**

**機関リポジトリの発展により、電子ジャーナル価格の上昇が抑制される**

**(真実)**

**抑制されない。電子ジャーナル価格上昇に対する著者サイドの対抗策である**

**(神話)**

**NIIとのシステム連携が重要**

**(真実)**

**世界中の情報検索サービス機関とのシステム  
連携が重要。NIIはOne of them**

**(神話)**

**オープンアクセス方針、RDM方針を定める  
ことにより自動的に論文が集まるようになる**

**(真実)**

**ならない。方針策定の意義は、その過程での  
大学執行部へのOA概念浸透にある**